

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び・会社情報

【製品名】 **KB-VKR21** (整理番号 MSDS- BP1004)

【供給者】 光洋産業株式会社

住所 : 東京都千代田区鍛冶町1-9-9石川LKビル

担当部門 : バイオメディカルグループ

電話番号 : 03-3252-1705

FAX番号 : 03-3252-1707

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

|            |                 |              |        |
|------------|-----------------|--------------|--------|
| 物理化学的危険性   |                 | 分類できない       |        |
| 健康に対する有害性  | 急性毒性            | (経口)         | 分類できない |
|            |                 | (吸入; ミスト)    | 分類できない |
|            | 皮膚腐食性/刺激性       |              | 分類できない |
|            | 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 |              | 区分2B   |
|            | 呼吸器感作性          |              | 分類できない |
|            | 皮膚感作性           |              | 分類できない |
|            | 生殖細胞変異原性        |              | 分類できない |
|            | 発がん性            |              | 分類できない |
|            | 生殖毒性            |              | 分類できない |
|            | 標的臓器/全身毒性       | 単回暴露 (気道刺激性) | 分類できない |
| 反復暴露 (呼吸器) |                 | 分類できない       |        |
| 環境有害性      |                 | 分類できない       |        |

#### 【GHSラベル要素】

|            |  |
|------------|--|
| 絵表示またはシンボル | —  |
| 注意喚起語      | 警告   |
| 危険有害性情報    | 眼刺激  |
| 注意書き       | [応急処置] 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。 |

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有 :

| 化学名               | 含有量 | CAS No.   | 官報公示整理番号<br>(化審法・安衛法) |
|-------------------|-----|-----------|-----------------------|
| 二酢酸6-カルボキシフルオレセイン | 非公開 | 3348-03-6 | —                     |
| ジメチルスルホキシド        | 非公開 | 67-68-5   | 2-1553                |

## 4. 応急措置

|             |  |
|-------------|--|
| 吸入した場合      | 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、異常があれば医師の手当てを受ける。                                      |
| 皮膚に付着した場合   | 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、希次亜塩素酸ナトリウムで洗浄した後、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける。 |
| 目に入った場合     | 直ちにコンタクトレンズをはずし、水で15分以上注意深く洗う。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。                      |
| 飲み込んだ場合     | 直ちに吐き出し、口をすすぎ多量の水で薄める。意識のない場合は何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。                           |
| 応急措置をする者の保護 | 救助者が有害物質に触れないように手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。  |

## 5. 火災時の措置

|             |   |
|-------------|---|
| 消火剤         | 粉末、二酸化炭素、泡（アルコール泡）、水噴霧、乾燥砂  |
| 火災時の特定危険有害性 | 燃焼により、有害な窒素酸化物、ハロゲン化合物等を発生する。   |
| 特定の消火方法     | 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し、移動不可能な場合は周辺を水噴霧で冷却する。 |
| 消火を行う者の保護   | 呼吸用保護具を着用する。  |

## 6. 漏出時の措置

|                  |  |
|------------------|--|
| 人体に対する注意事項       | 作業の際には適切な保護具を着用し、製品が身体に付着しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。  |
| 環境に対する注意事項       | 漏れ出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。   |
| 除去方法（回収、中和、廃棄など） | 漏出源を遮断し、漏れを止める。大量の場合は盛土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。少量の場合は、おがくず、土、砂、ウエス等で吸着させて取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 |
| 二次災害の防止策         | 完全に回収後、汚染された場所及びその周辺を大量の水で洗浄する。付着物、回収物等は関係法規に基づき速やかに処分する。河川等へ排出され、環境への影響を与えることのないように注意する。            |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

（消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等の関係法規に準拠して作業を行う。）

|     |   |
|-----|---|
| 取扱い | 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。<br>作業者は暴露防止のため取扱いは換気の良い場所で行う。<br>作業場近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。<br>発散した製品を吸い込まないように、風上から作業する。<br>作業の都度、容器を密閉する。<br>密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。<br>容器は転倒させる、衝撃を加えるまたは引きずる等の粗暴な扱いをしない。 |
| 保管  | 容器および遮光袋に入れて、直射日光を避け、-20℃の冷暗所で密閉保管する。<br>開栓した容器で再び保管する時は、密栓を良く確かめる。火気厳禁。<br>堅牢で不活性な材質の容器を用いる。   |

## 8. 暴露防止及び保護措置

|      |   |
|------|---|
| 設備対策 | 密閉する装置または局所排気装置を使用する。<br>取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。                        |
| 管理濃度 | 設定されていない  |
| 許容濃度 | 設定されていない  |
| 保護具  | 手の保護具：保護手袋<br>目の保護具：保護メガネ、ゴーグル等<br>呼吸器の保護具：有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器<br>皮膚及び身体の保護具：保護衣（長袖作業衣）、保護長靴 |

## 9. 物理的及び化学的性質

|              |    |        |
|--------------|----|--------|
| 外観           | 形状 | 液体     |
|              | 色  | 無色透明   |
| 臭い           |    | 無臭     |
| pH           |    | データなし  |
| 融点           |    | データなし  |
| 沸点           |    | データなし  |
| 引火点          |    | データなし  |
| 発火点          |    | データなし  |
| 爆発範囲         |    | データなし  |
| 蒸気圧          |    | データなし  |
| 蒸気密度（空気=1）   |    | データなし  |
| 比重（または密度）    |    | データなし  |
| 溶解性          |    | 水に溶解する |
| オクタノール／水分配係数 |    | データなし  |

## 10. 安定性及び反応性

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 安定性       | 適切な保管、取扱いの条件下では安定。                |
| 反応性       | 着火源により燃焼する可能性がある。                 |
| 避けるべき物質   | 日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他発火源、強酸化剤 |
| 危険有害分解生成物 | 窒素酸化物、ハロゲン化合物                     |

## 11. 有害性情報

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| 急性毒性                     | データなし |
| 皮膚腐食性／刺激性                | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性          | データなし |
| 呼吸器感作性                   | データなし |
| 皮膚感作性                    | データなし |
| 生殖細胞変異原性                 | データなし |
| 発がん性                     | データなし |
| 生殖毒性                     | データなし |
| 標的臓器／全身毒性<br>（単回暴露・反復暴露） | データなし |
| 吸引性呼吸器有害性                | データなし |

## 12. 環境影響情報

|         |       |
|---------|-------|
| 生態毒性    | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生態蓄積性   | データなし |
| 魚毒性     | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |

## 1 3. 廃棄上の注意

|           |  |
|-----------|--|
| 残余廃棄物     | 焼却する場合、十分な可燃性溶剤、重油などの燃料とともにアフターバーナー、スクラバー等を具備した焼却炉でできるだけ高温で少しずつ焼却し、排ガスは中和処理する。<br>処理施設がない等の理由で廃棄できない場合は、都道府県の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。洗浄水等は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄してから排出する。 |
| 汚染容器および包装 | 十分に洗浄して廃棄する。   |

## 1 4. 輸送上の注意

|                |      |  |
|----------------|------|--|
| 国際規制           | 国連分類 | 非該当  |
|                | 国連番号 | 非該当  |
| 国内規制           |      | 非該当  |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 |      | 輸送前に容器の破損、腐蝕、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 |

## 1 5. 適用法令

|                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| 消防法               | 危険物第 4 類 第 3 石油類（水溶性）危険等級 3 |
| 毒劇物取締法            | 非該当                         |
| 労働安全衛生法           | 非該当                         |
| 化学物質管理促進法（PRTR 法） | 非該当                         |

## 1 6. その他の情報

|      |  |
|------|--|
| 引用文献 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原料メーカーの MSDS</li> <li>・ NITE の GHS 分類結果データベース</li> <li>・ 安全衛生情報センターの GHS モデル MSDS 情報</li> </ul> |
|------|--|

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しておりますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。新しい知見により改訂されることがあります。

また、MSDS 中の注意事項は、通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。